

IV. 新規採択時評価の例

○公共下水道事業

箇所名	まつうらし 松浦市公共下水道事業
事業主体	長崎県松浦市
事業内容	計画処理面積：398 (ha) 計画処理人口：16,470 (人)
地区の特性 及び 事業の必要性	<p>松浦市は長崎県の最北部、伊万里湾の西端に位置する面積約9.6km²、人口約22,400人の市である。</p> <p>松浦市では、平地が少なく人口が平地部に集中し、市街地を流れる河川などでは年々汚濁が進み、近年は生活環境の悪化が顕著になっている。また水産業が盛んであるが、近年は水揚げ量が減少傾向であり、閉鎖性水域である伊万里湾の水質保全是緊急を要している。このため、早急に公共下水道事業に着手し、生活環境の改善、公共用水域の水質保全是積極的に推進していくものである。</p>
位置図	

【新規採択時評価の結果（概要）】

以下の検討を踏まえ、本事業は新規事業の採択箇所として妥当であるものと判断。

評価指標	評価概要	判定
1. 採択の前提となる指標		
(1)他の汚水処理施設との役割分担	都道府県構想上、下水道の位置付けである	○
(2)費用効果分析において効用有 (B/C>1)	費用便益比が1.32である	○
2. 優先採択指標		
(1)効果の早期発現	5年以内に一部供用開始が可能	○
(2)費用効果分析において効用有 (B/C>2)	費用便益比が1.32である	—
(3)汚水処理施設の普及格差の是正	平成13年度末の汚水処理施設整備率が26.8	○
(4)浸水の防除		
・近年における床上浸水被害の有無(過去10年間に床上浸水被害又は3回以上の浸水被害があり、かつ浸水指数10,000以上)	該当なし	—
・主たる公共施設の有無	該当なし	—
(5)水質の改善の必要性		
・水質汚濁に係る環境基準の達成状況		—
・計画区域が属する流域の閉鎖性	伊万里湾	○
・処理水を放流する公共用水域における水道取水の有無	該当なし	—
(6)汚泥の有効利用	該当なし	—
(7)下水道管理の高度化	該当なし	—
3. 一般指標		
(1)新技術の導入	該当なし	—
(2)他事業との共同、連携		
・汚水に関する連携施策	該当なし	—
・雨水に関する連携施策	該当なし	—
・汚泥に関する連携施策	該当なし	—
(3)地域活性化		
・地域振興への支援	該当なし	—
・国家的イベント、プロジェクトへの支援	該当なし	—
・都市整備、居住環境形成、産業振興への支援	該当なし	—
(4)水循環の健全化		
・河川維持流量の確保	該当なし	—
・健全な水循環の再生	該当なし	—

※費用便益比の根拠

総事業費 (億円)	便益 (B)		費用 (C) (億円)	B/C
	総便益 (億円)	便益の主な根拠		
240	302	便益算定人口 1.65 万人	228	1.32